

たまがわ5



号 第 29
任 務
第 29 号

平成5年8月20日
木 武 一
鈴 賀 本 珠 門
TEL 3700-9657

ふじみ社食事サレ
協力者の喜びと悲しみ

上野 賀 寺 田 齋 藤 金 男

毎日夕方四時前、約三十食の弁当が、ふじみ社の調理場から、車庫、自販車庫で七時半以上の病弱老人、食事を作るのが困難か、作ってくれる人のいない老人宅に配達されます。

「今日は、お元気ですかお弁当ですよ。」と苦勞様待っていました。大好きなお弁当。毎日おいしいお弁当を頂き長生き出来そうよ。お弁当を頼んで頂いてから、体重も増えたのよと嬉しい返事。そして「お陰様で、すっかり元気になったから、自分で作って食べるので、来週から順番待ちの方に回して下さいね」との事。大変嬉しく、喜びを感じます。

「病気で心配なA様。今日から当分お休み、入院したのよやがて時が経ち、今度A様の代わりにB様に配達して下さいね」年に一、二回は悲しい思いを致します。

新緑が目にしみるころ、赤十字奉仕団員は、地域の方々と、社員増強をモットーに募金を始めます。又、献血、研修、防災訓練、裁縫奉仕等の行事は、全て奉仕の精神ひとすじです。秋の共同募金に続いて、地元福祉活動のため、歳末たすけあい募金にも大いに協力しています。私共利用分団は、出稼所管内で、各役員が一丸となって奉仕活動をしています。

きびしい世の中ながら、少しでも、地域のために役にたてればと、一生懸命です。皆様の御礼、感謝。



用賀出張所管内の民生児童委員は三十名です。

高齢者社会を迎え、地域で生き生きと互いに支えあい励ましあって暮らせるようにと日夜努力しています。「腰やかに子どもを生み育てる環境づくり」の活動も益々重要とされています。地域の皆様、経験豊かな高齢者の皆様どうか地域の子ども達に目を注いで下さい。よい子が育つて下さい。

民生児童委員の活動
上野 賀 寺 田 伊 藤 英 子



高齢者問題、児童問題等の情報をお知らせ下さい。秘密は守ります。幅広い福祉の分野で、弱者が幸せにとの願いをこめての活動です。

二子玉川の駅から遊園地の方向にむかい五分、玉川税務署の裏隣に、酒落た建物があります。福祉とボランティアの活動の支援のための拠点として役立っています。

施設としては、もう八年になりますが、まだ、あまり知られていないのが残念です。実践と交流の場として、もっと機能したと願っています。自主的な奉仕による送迎のサービスや、老人の給食も、月、五回も行なっています。



福祉ボランティア

私達の老人クラブには沢山の部があり、それぞれ楽しく先生に教わっております。

また、春秋のお彼岸には無量寺、真福寺の無量仏のお参り。年二回の旅行会、年三回の誕生会、新年会、第六天祭、敬老祭と、行事毎に大勢の会員が参加します。

去年の九月より、京西小学校へ、第二土曜日午前中、子供達とのふれあいと言う事で、役員交代で行っています。



福祉ボランティアの活動の支援のための拠点として役立っています。

施設としては、もう八年になりますが、まだ、あまり知られていないのが残念です。実践と交流の場として、もっと機能したと願っています。自主的な奉仕による送迎のサービスや、老人の給食も、月、五回も行なっています。

また、春秋のお彼岸には無量寺、真福寺の無量仏のお参り。年二回の旅行会、年三回の誕生会、新年会、第六天祭、敬老祭と、行事毎に大勢の会員が参加します。

去年の九月より、京西小学校へ、第二土曜日午前中、子供達とのふれあいと言う事で、役員交代で行っています。

去年の九月より、京西小学校へ、第二土曜日午前中、子供達とのふれあいと言う事で、役員交代で行っています。



郷土紹介
用賀のフナード
百人一首

まもなく、用賀アロムナード（いらかみち）が全面開通となります。この道は昭和六十一年春、砦公園内に世田谷美術館が開館した時、一部完成済で、降雨後滑り易いという難点もありましたが、休日、人の列が続いていました。

いらかみちには小倉百人一首が順番に刻み込まれています。

新玉川線の用賀駅より新築成った扇型階段を地上に出ると、秋の田の飯庵の庵の首をあらみ、わが衣手は露にぬれつつに始まり、途中、噴水や細流の陽を通って、上用賀五丁目を、

瀬田小学校ふれあい給食三題
下野 剛史

給食を食べる日がきました。「こわそうな人かな、やさしい人かな」とわくわくしていました。やさしいおばあちゃんだったので、心の中で「良かった」と思っていました。

おばあちゃんの住んでいる所、おばあちゃんの好きな食べ物、好きなことを、いっぱい聞きました。

給食の後に、プレゼントをこっかんしました。

次の日、おばあちゃんから、手紙がきました。とても楽しかったと書いてありました。ぼくは、おばあちゃんとの「ふれあい」を思い出に残しておきたいです。

瀬田小学校では、毎年九月に四年生がお年よりと一緒に給食を食べる「給食会」を開いています。（取材 大坪）

環状八号線の方に向くと、最後は「もしもしや、ふるぎ野端のしのぶにも、なほあまりある昔なりけり」で終ります。

小倉百人一首は、鎌倉時代初期、藤原定家が京都嵯峨の小倉山荘で、各歌人の和歌を一首宛撰んだ為、その名があると云われますが江戸時代に入ってから、カルタとしてお正月の遊びの中に取り入れられました。

そして、私たちの町では、小倉山に代り、二十九階建のオフィスビルを背に家庭や学校で、子ども達のカルタ取りが始まるかも知れません。

何となく足早な世相、皆さんも、用賀アロムナードで、しばし、足を止めてみては如何ですか。（飯田）

石出 うらうら
何をしゃべろうか、どんなことをすればいいのか、心配だった。心ぞうの「トクントクン」は、とてもはげしくなっている。

私たちの班におばあさんがきた。「こんにちわ、きがるにおばあさんが話しかけてきた。わー。やさしそうな人。これだった。べらべら話せるかな。こんなことを思った。あの、どこに住んでいるんですか。私は思いついて言った。この辺よ。私の娘が瀬田小に通ってたのよと話してくれた。いろいろ聞いた。最後に「ありがと」と笑って言ってくれた。気分がよくなった。

（取材 大坪）

寺多摩川を謳う

寺田 荒井 うめ
戦後まもなく、充足したばかりの新制中学に美しく魅力的な音楽の先生がいた。当時としては珍らしく、フリル一杯のフラウスに、紫のロンカスカーと姿で指揮棒を振る先生に憧れ中学三年間を合唱班で通した。東北の小都市の中学生にはハイレベルな「ハレルヤ、コーラス」で「ウーン」の森の物語「等を混声四部合唱で歌ったことを思い出す。十代に覚えたものは忘れがたく、その後の日々の生活を心豊かにしてくれした。子育てに追われた頃は梅雨空に「ハレルヤ」を口ずさみ洗濯物をひろげた。かけがえのないあの頃の曲を再び歌うことはない

という思いで歳月を重ねた。そして今、高島屋レイスコーラスのクール・ロジエ（副級のコーラス）で歌う。坂本博士先生の御子息、秀明先生のご指導で本場仕込みのドイツ語の歌曲をお仲間と共にハモる。私は東北なまりで、モーツアルトを歌う。今年、坂本先生作曲の「多摩川夢」幻という素敵な曲と出合う。「あゝ千年の流れのまゝに、多摩川多摩川我がふるさとよ」

第二の故郷というべき、玉川の町に住み、多摩川を鑑みあげる喜びを思う。



トビックス

本年度総合防災訓練（玉川地域）は九月一日（水）午前十時半～午後一時、八幡中学校で実施されます。

用賀駅前、用賀中町通の旧玉電軌道敷跡の道路が十月上旬に開通する予定です。

青少年用賀地区委員会行事
○十月二日（土）
於 京浜小学校
中学生話し会コンクール
○十月三十日（土）
於 二子玉川小学校
小学生卓球大会



「多摩川夢」を歌う。今年、坂本先生作曲の「多摩川夢」幻という素敵な曲と出合う。「あゝ千年の流れのまゝに、多摩川多摩川我がふるさとよ」

第二の故郷というべき、玉川の町に住み、多摩川を鑑みあげる喜びを思う。



あじがき

子ども達の楽しい夏休みも、残り少なくなり、やがて新学期が始まります。

今回は「福祉」をテーマにとりあげてみましたが、福祉といいますが、範囲が広く、地域で活動していらっしゃる。一部の方に原稿をお願いしました。

皆さまの一生懸命お世話をして下さる温かみが、さっと伝わる事でしょう。

又、おとしよりと、子ども達との「ふれあい」は、えまじいのです。

趣味の広場では、お仲間とコーラス、ぜひいつまでも楽しい歌声を……。

ひろば29号にご協力有難うございました。（高橋 運）



あじがき